

平成26年度 第2回市政モニターアンケート集計結果

各種健診の受診率の向上に関するアンケート

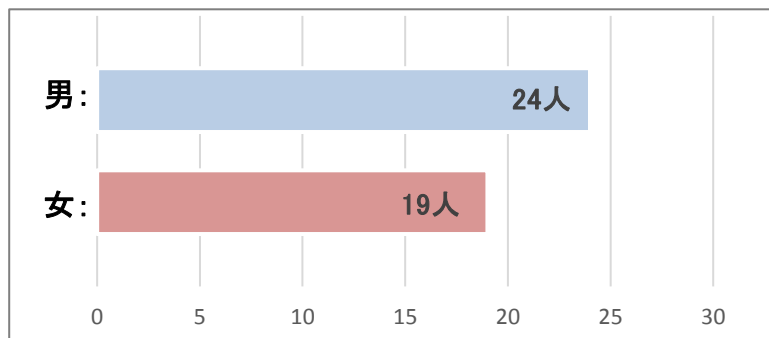
○アンケート期間:平成26年11月8日～平成26年12月1日

○アンケート回答者数:43人

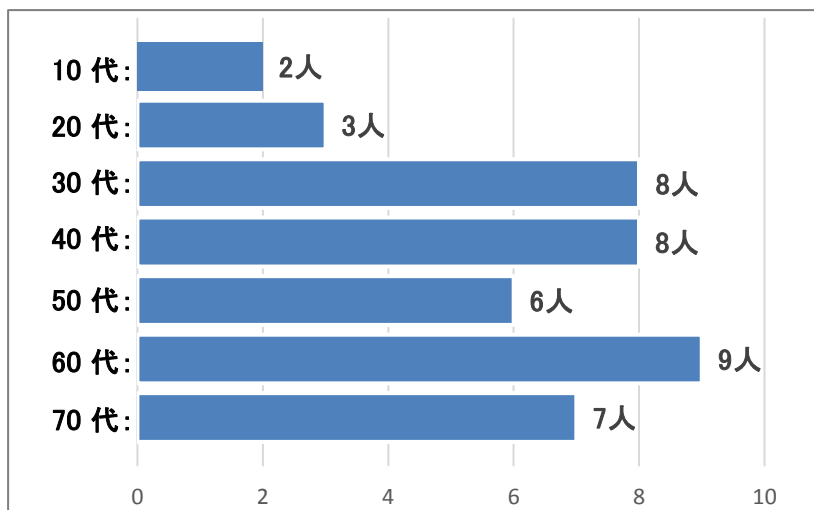
Q1 あなたの基本情報について

※Q2以降のアンケート回答の参考となる属性のみを抽出しています。

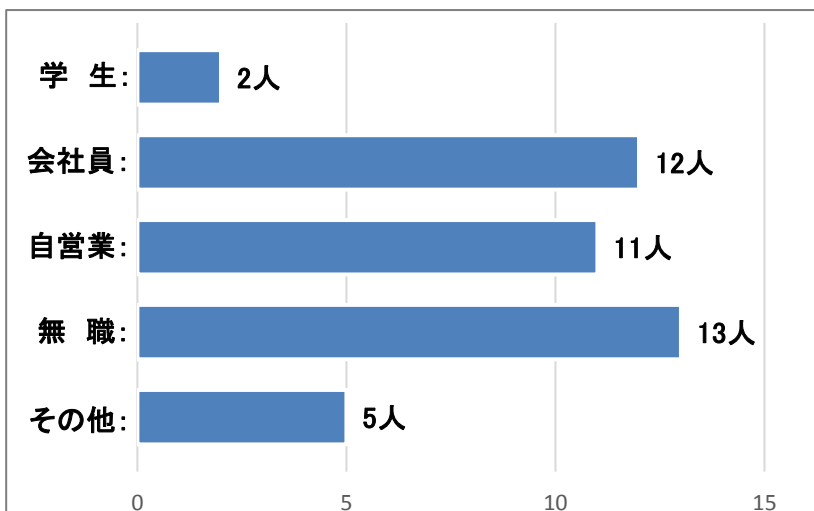
●性別



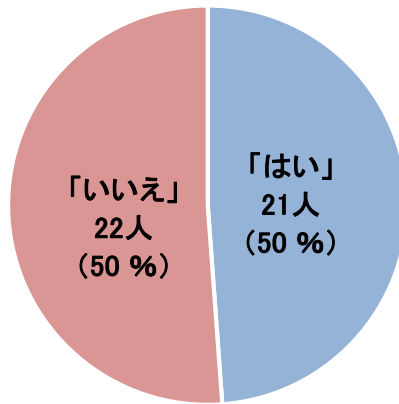
●年齢



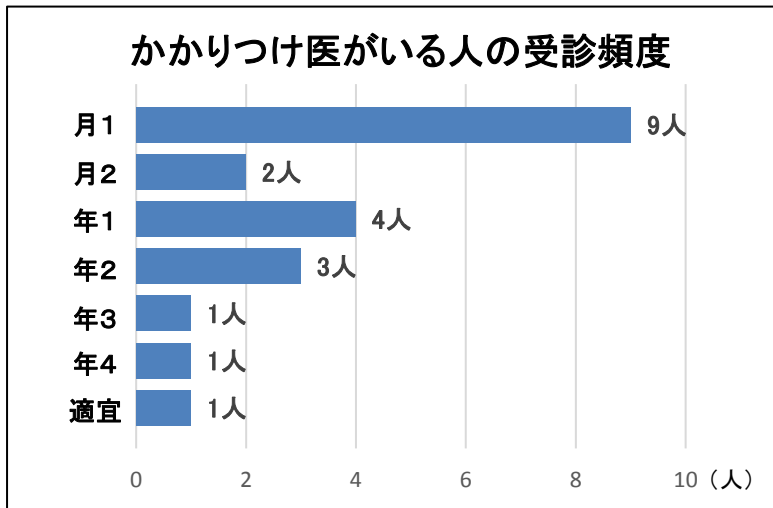
●職業



Q2 あなたは現在、かかりつけ医をお持ちですか



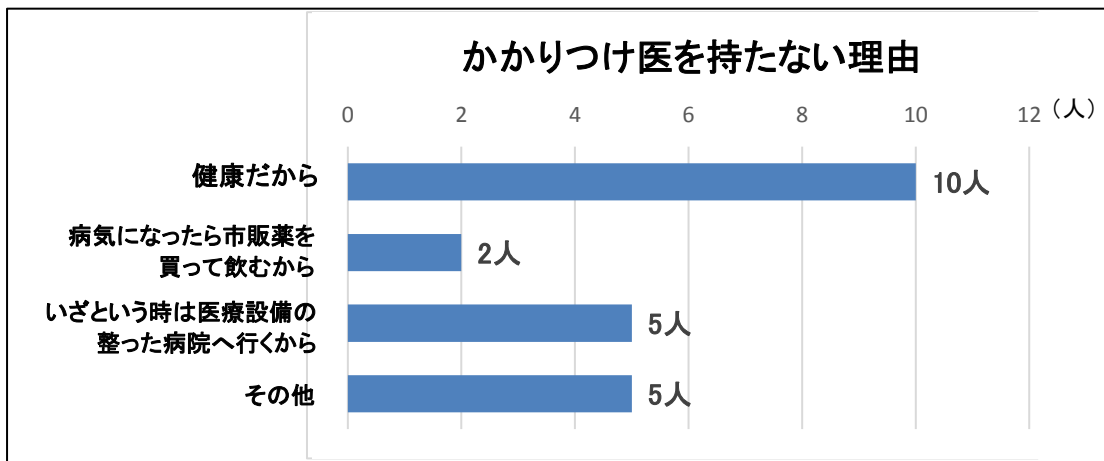
■「はい」と答えた方



【参考】
かかりつけ医を持つ人の年齢

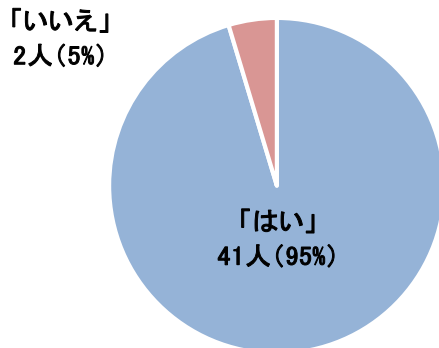
10代	1
20代	1
30代	3
40代	1
50代	3
60代	5
70代	7

■「いいえ」と答えた方

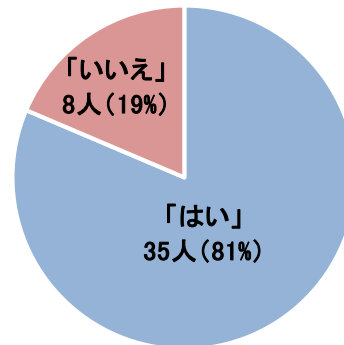


Q3 体の状態について、客観的に把握していますか

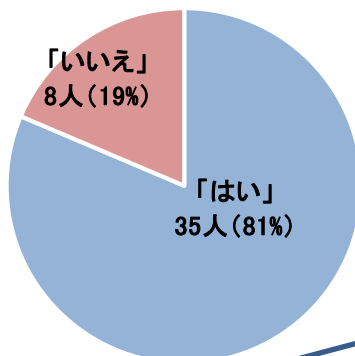
Q: 普段の体重を知っていますか？



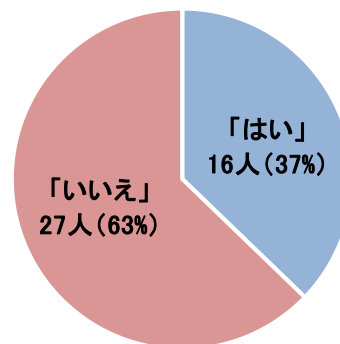
Q: 適正体重を知っていますか？



Q: 血圧の状況を知っていますか？



Q: 血糖の状況を知っていますか？



市の国保特定健康診査で「所見あり」となった割合 (単位:%)

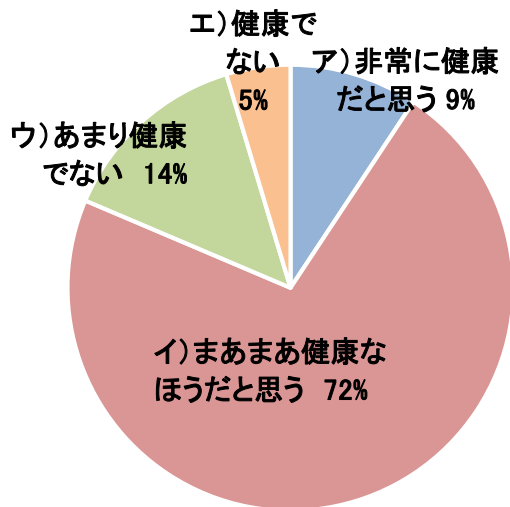
	糖尿病検査項目	高島市			滋賀県
		H22	H23	H24	H24
男	ヘモグロビンA1c	46.4	44.9	46.1	55.3
	空腹時血糖	32.5	35.4	34.3	35.9
女	ヘモグロビンA1c	50.3	35.4	46.1	54.5
	空腹時血糖	17.2	17.8	16.9	19.6

高島市では、男性、女性ともにヘモグロビンA1c値、血糖値が上昇傾向にあり、健康診査でも、「所見あり」の割合が比較的高くなっています。

「血糖値」は、血液検査時の食後経過時間などにも左右されますが、「ヘモグロビンA1c値」は、過去1~2か月の血糖の状態を知るのにも有効です。

糖尿病は、様々な合併症を引き起こすリスクもあることから、血糖の状態を日頃から把握することは、自身の健康管理の上でも非常に重要です。

Q 4 あなたは自分を健康だと思いますか

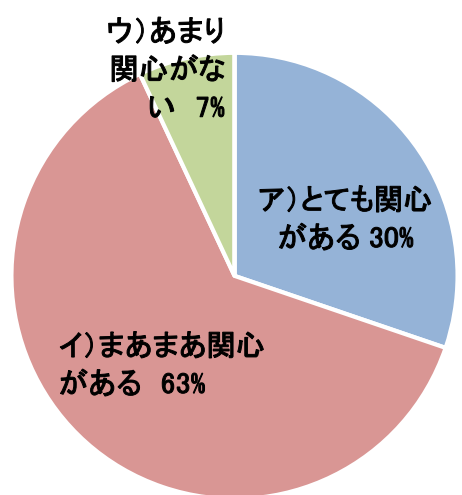


n=43

	回 答	人
ア	非常に健康だと思う	4
イ	まあまあ健康なほうだと思う	31
ウ	あまり健康でない	6
エ	健康でない	2
	合計	43

●8割の方が、ご自身のことを「健康」と意識されています。
 ⇒Q8の「健康診査の受診状況」で、**今年、健康診査を受診された方は、おおむね6割**です。
 ⇒Q12の「**がん検診の受診状況**」になると、**3割を下回ります**。

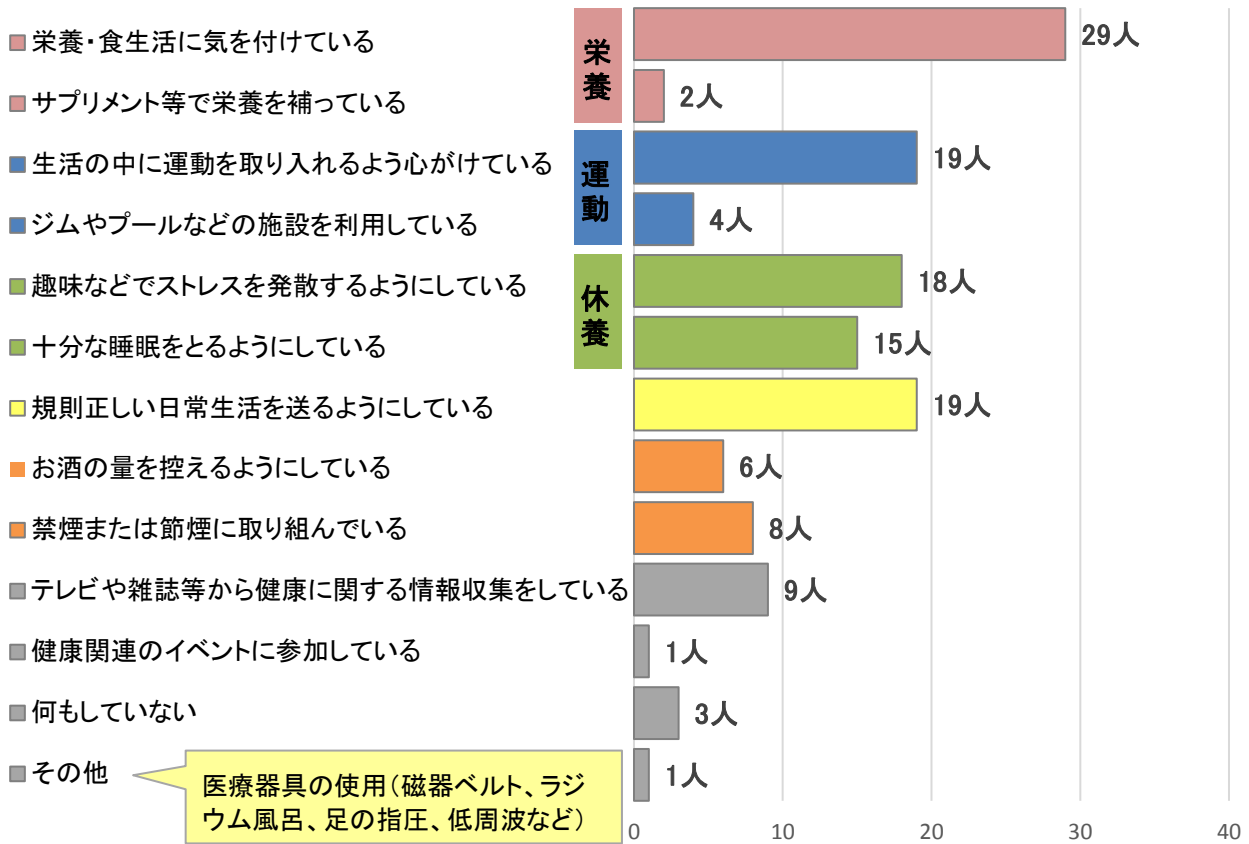
Q 5 あなたは健康に関心がありますか



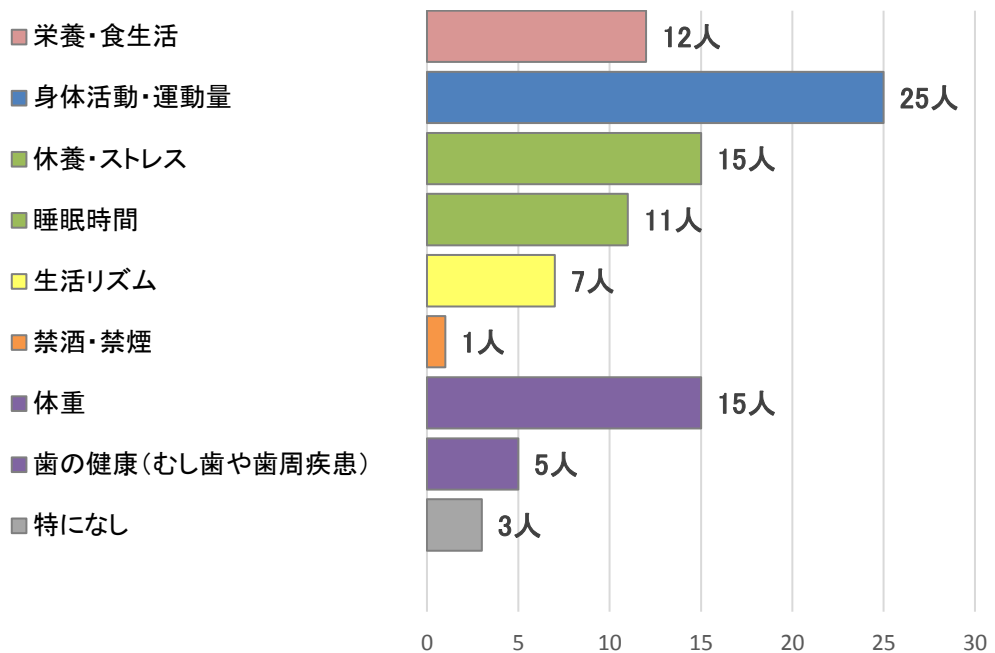
n=43

	回 答	人
ア	とても関心がある	13
イ	まあまあ関心がある	27
ウ	あまり関心がない	3
エ	全く関心がない	0
	合計	43

Q 6 あなたは日頃から自分の健康のため何かされていますか（複数回答可）

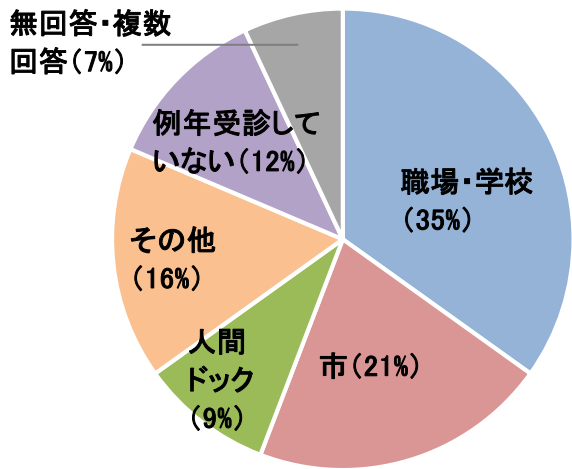


Q 7 健康に関して、できれば改善したいと思っていることは何ですか（複数回答可）



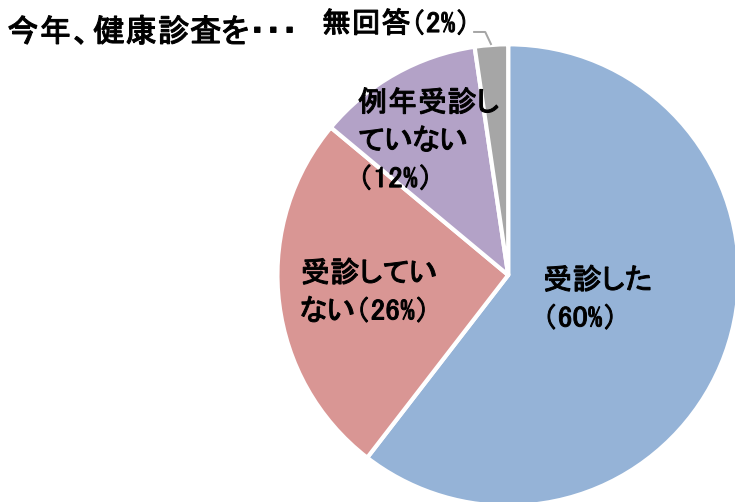
Q 8 あなたの健康診査の受診状況について

1) 健診の受診先は？

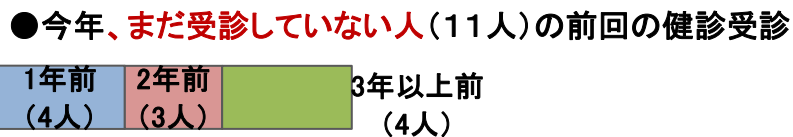
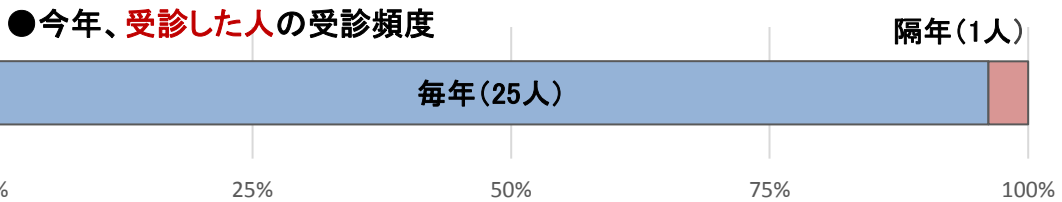


n=43	
回答	人
職場・学校	15
市	9
人間ドック	4
その他	7
例年受診していない	5
無回答・複数回答	3
	43

2) 受診状況は？

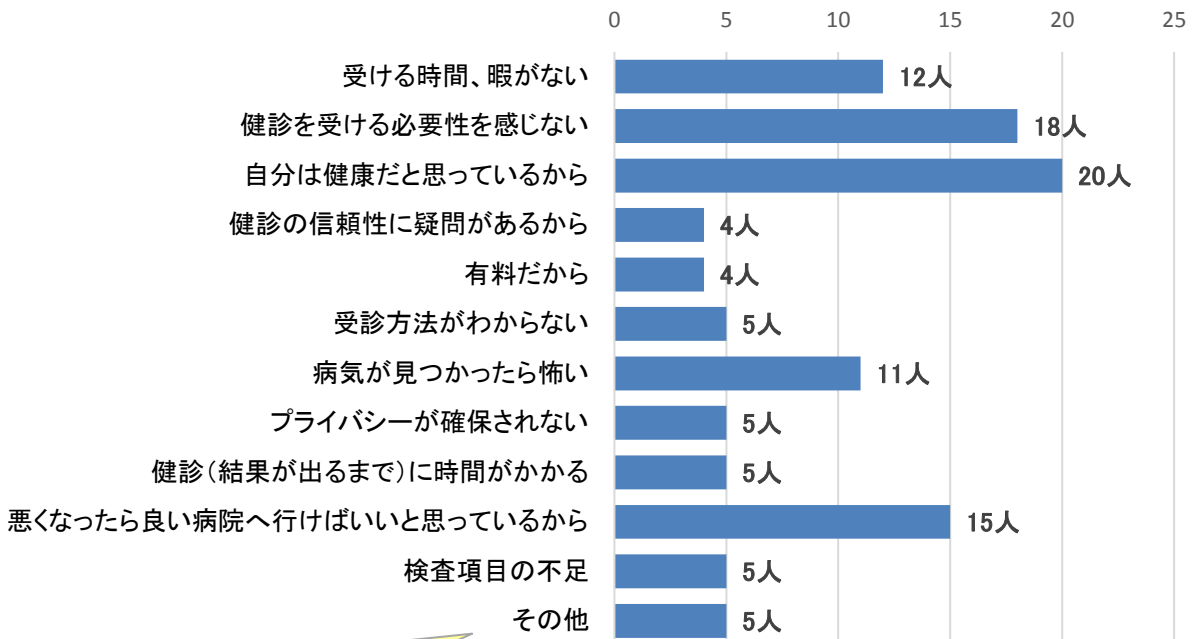


n=43	
回答	人
受診した	26
受診していない	11
例年受診していない	5
無回答	1
	43



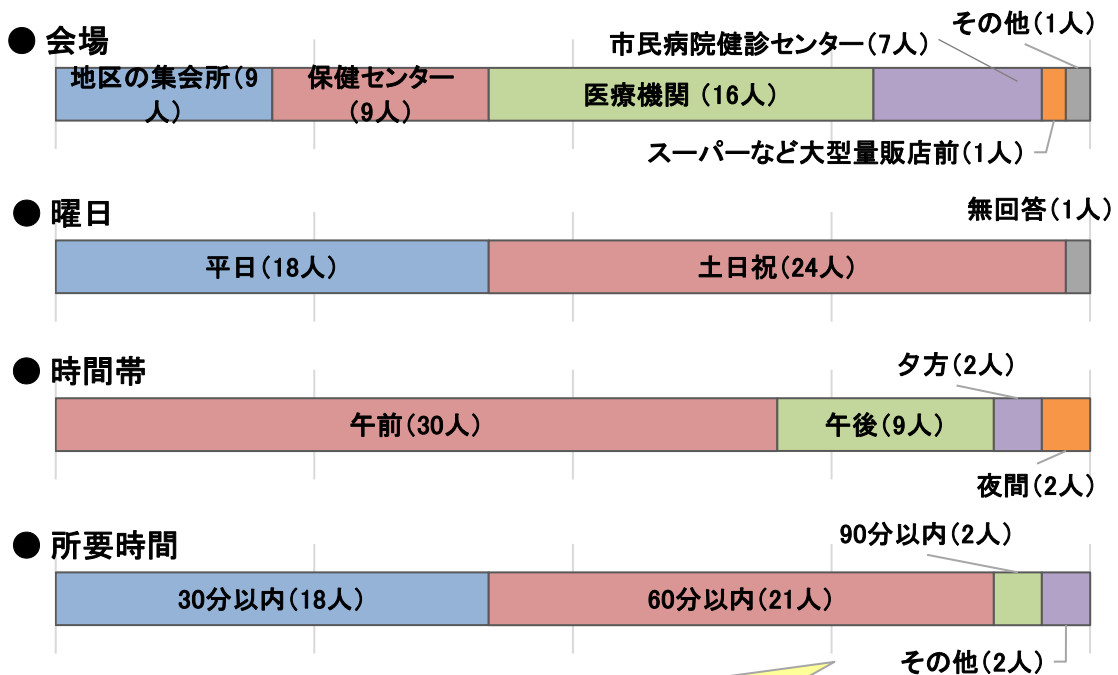
「例年、受診していない」に
変わるリスクの高い方

Q 9 住民の方が受診されない理由は何だとお考えですか（複数回答可）



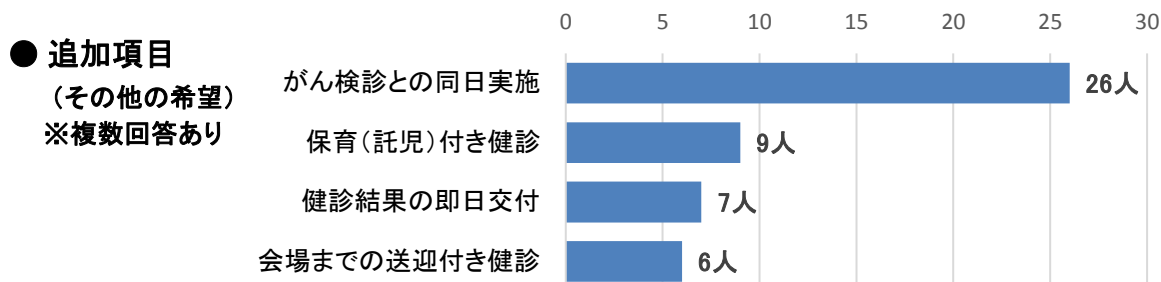
- 会社を休んで、診察にいけない
- タイミングが合わない
- 受診方法、手続きが分からない
- 職場検診の充実や、医療機関での直接受診を希望

Q 10 学校や職場での健診が無いと仮定して、最も受診しやすいと思われる健診の体制は



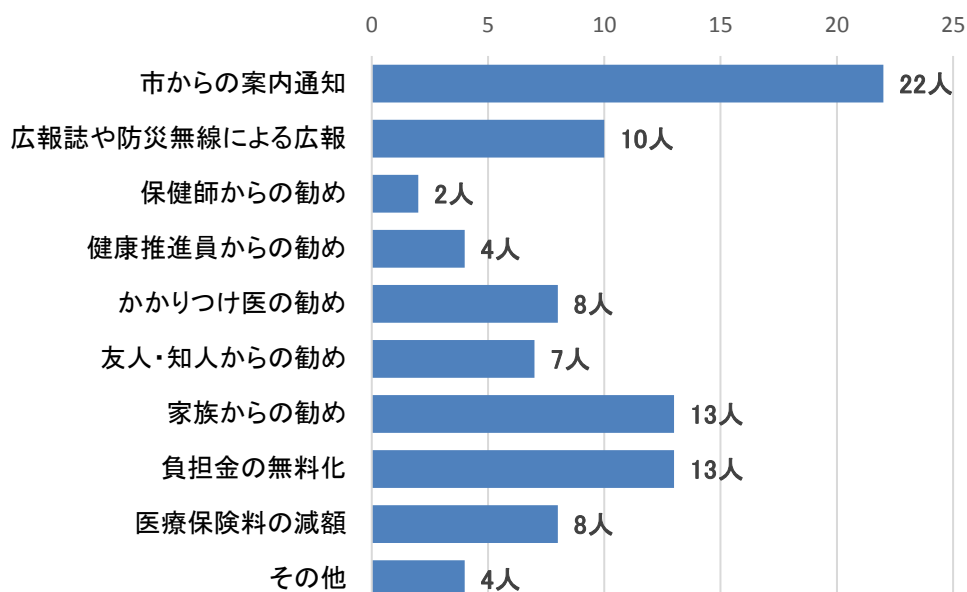
- 健診の内容による
- 必要であれば時間にこだわらない

Q10 学校や職場での健診が無いと仮定して、最も受診しやすいと思われる健診の体制は



市では、現在も託児(無料)のある集団健診日を設けています。

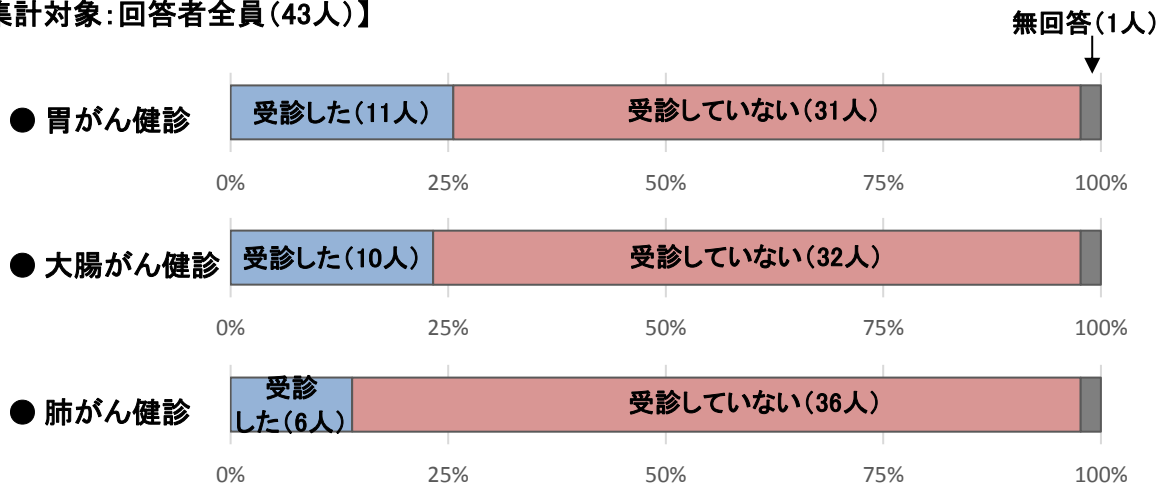
Q11 受診されるきっかけ作りに必要なものは何だと思われますか



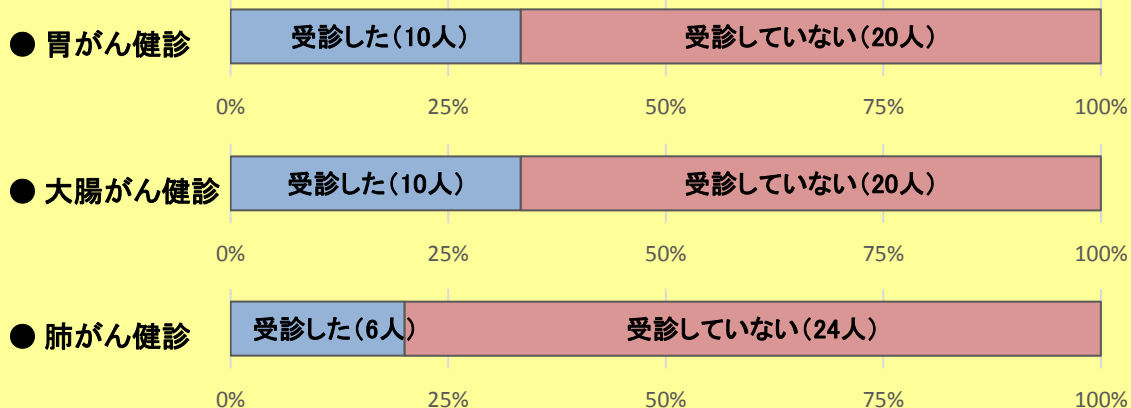
- 健診必要性の理解を深めること
- 自身の健康意識を高めること

Q 1 2 あなたのがん検診の受診状況について

【集計対象: 回答者全員(43人)】

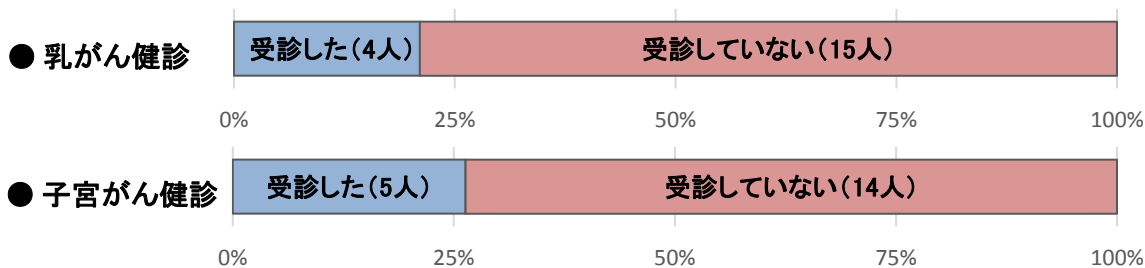


【集計対象: 40歳以上(30人)】

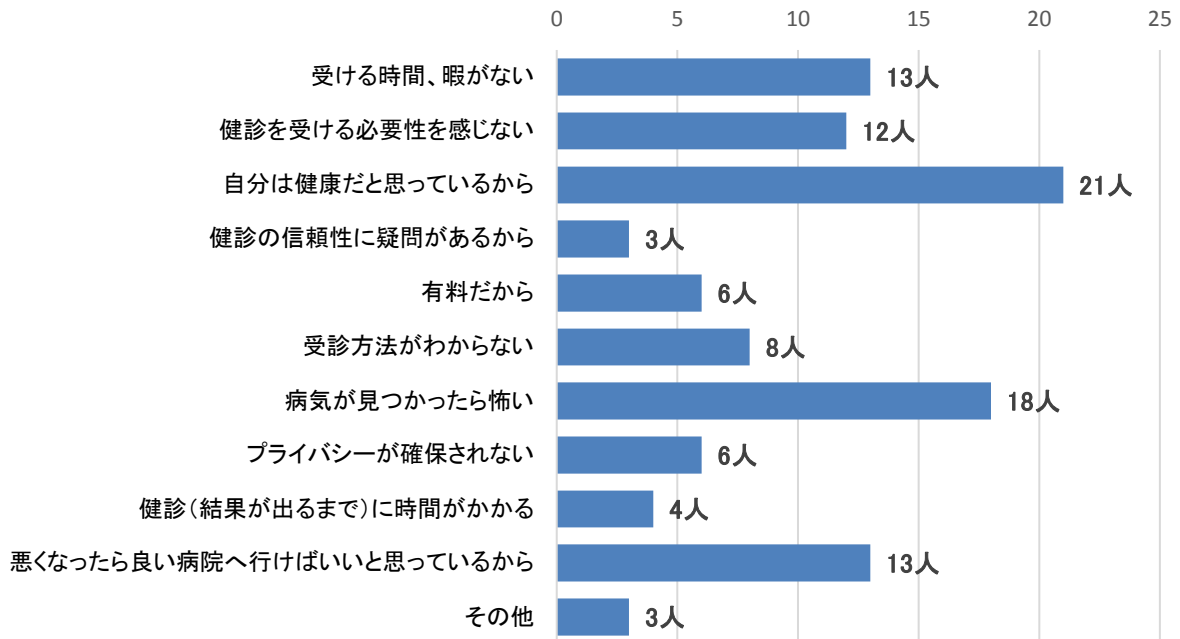


がん好発年齢である40歳以上の方を抽出しても、6~7割の方が、がん検診を受診していません。

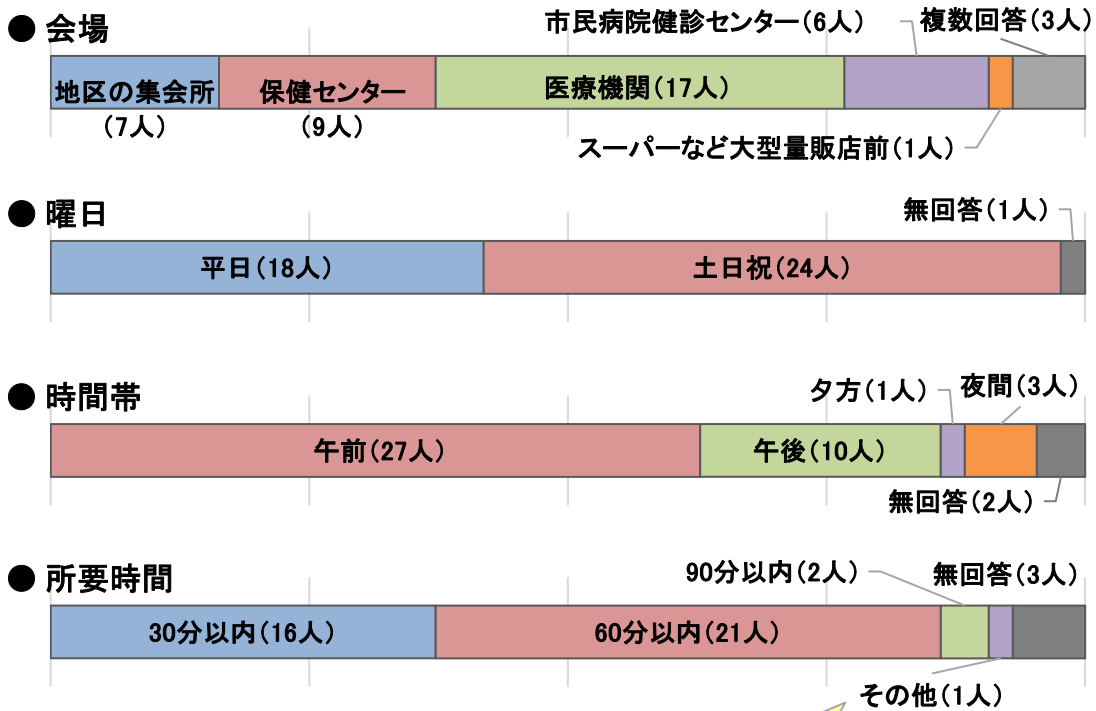
●女性に特有のがんについて
【集計対象: 女性のみ(19人)】



Q 1 3 住民の方が がん検診を受診されない理由は何だとお考えですか
(複数回答可)



Q 1 4 学校や職場での健診が無いと仮定して、最も受診しやすいと思われるがん検診の体制は

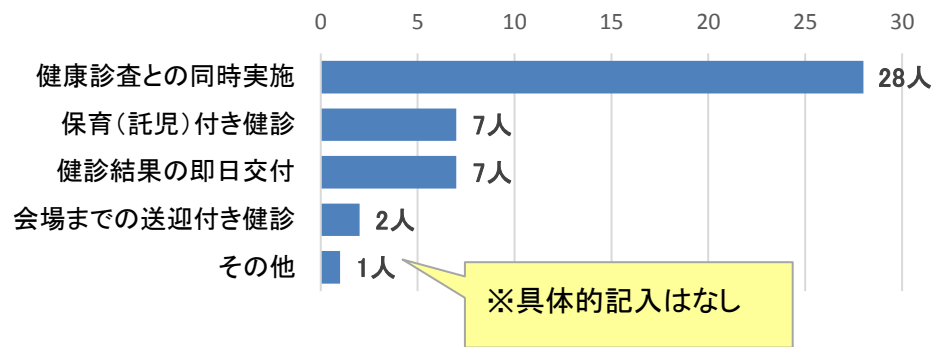


●必要であれば時間に
こだわらない

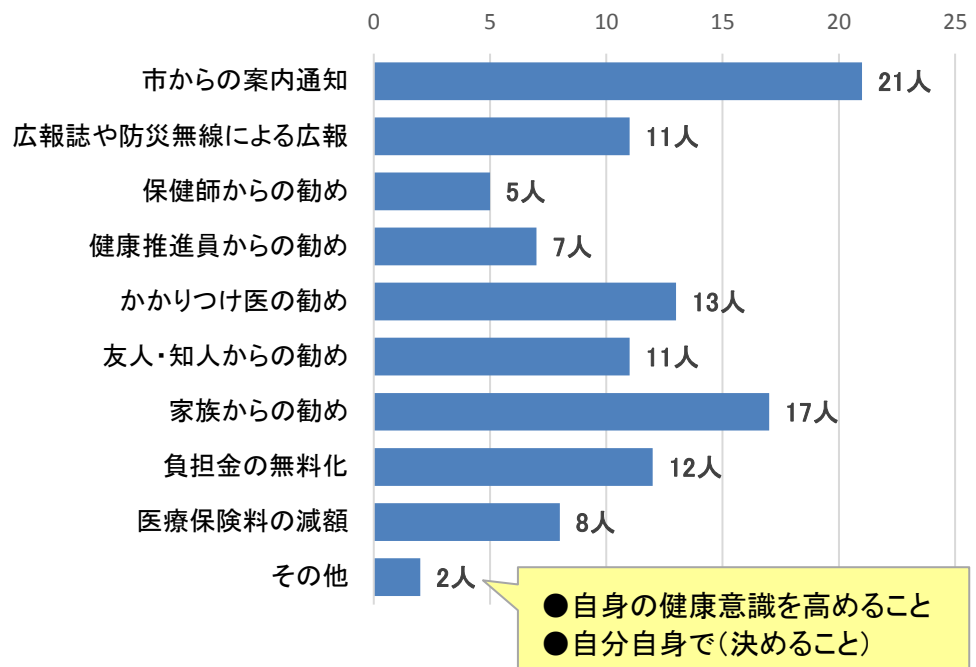
Q 1 4 学校や職場での健診が無いと仮定して、最も受診しやすいと思われるがん検診の体制は

● 追加項目

(その他の希望)
※複数回答あり



Q 1 5 受診されるきっかけ作りに必要なものは何だと思われますか (複数回答可)



Q16 その他、健康診査やがん検診の受診率向上に有効と思われることがあれば、ご記入ください。

1	普段、健康でいると、健診の受診を忘れがちなので、防災無線やポスター等で健康診査やがん検診をもっとアピールしていく。
2	検査による早期発見、早期処置の効果実例などの広報。
3	労働人口(65歳まで)に入る人は健診必要。それ以上は自主的に。人間は誰でも80歳以上にもなれば身体の自由が効かなくて普通。医学の進歩、長寿は本当に人類に幸せをもたらすだろうか。
4	定期的な受診することが、その人にとっても社会にとってもリスク軽減に繋がるのか数値比較を活用して、受診率向上に努められてはいかがでしょうか。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での列をなしての集団受診スタイルは限界があると思う。 ・自身の健康に関心のある人は増加しているが、必然的でないという思いから、健康診査や検診の受診率の向上には繋がらないのではないかと思う。 ・今日のように生活スタイルが多様化してくると、決められた日程での受診はなかなか困難だと思う。職業を持っている人…職場での受診、在学中の人…学校での受診、上記の対象者も含めて自身が望む医療機関での受診等、自身が望むスタイルを選択できることも重要かと思う。また、かかりつけの医療機関等でも診察のついでに受診できると良いのではと思う。
6	自分自身が健診を受けていないので、書きにくいのですが、なぜ受けていないのかを考えました。自覚症状がないので、行かないのです。何か不調がある時は、いつも行くお医者様を決めていますので、そこへ行きます。そうすれば、検診で受ける血液検査などはしてもらえます。但し費用は1000円ではありません。通常費用を支払う事になります。健康診断の1000円は魅力ですが、できれば、年に1回はかかりつけのお医者様での診断を1000円にさせていただければありがたいです。そのデータを市役所へ出せばいいという制度もあるのですね。それを知らないで、お医者様でも言ってくれたらそうしますが、知らなかったです。
7	検診をして命が助かった実例をみんなに知ってもらおう。
8	集団検診は、その日の都合などで行けないこともあり、個別に受けられるような方法、たとえば、市内の医院やかかりつけの医者で受診できるなどの方法もあるのではと考えます。
9	健康診査において、時間がかかってもしっかりと問診などをお願いしたい(こなすだけの感が強い)。次のステップに繋がるようにして欲しい。検診や検査精度のアピールが必要。検診などと一緒に症状にあわせた運動や食事療法などを取り入れては？以前、試験的だと思うが、滋賀医科大が実施した程度の検診を継続的に実施し、その詳細なデータを個々に示して改善を促していく必要があるように思える。
10	公務員の健康診断より診断の範囲が少なすぎる。不公平でもある。できれば同一にできないでしょうか。
11	広報等でのPR。早期発見での死亡率大幅低下などインパクトのあるPRの仕方をする。気軽にすぐ受診できるようにならないか？区の総会や集会のタイミングで健診できるようにする。決まった日に、決まった場所で受診するとなると行きづらいのではないのでしょうか？
12	明確な理由と徹底した広報活動。
13	受診すれば何かポイントなり特典をつければどうだろうか？例えば商工会と連携するとか。次回受診時に受診料の割引をするとかの方法。
14	〇〇クーポンのように、市内業者等に協力してもらい、健康診査や検診を受けるとクーポンがもらえるという仕組み⇒受診率アップと産業の活性化にもつながる。
15	「もしこのまま(病気になっていたとして、知らないまま)の状態でしたら、こういう事になりますよ」っていう悪いケースを何かで伝えてみる。

Q16 その他、健康診査やがん検診の受診率向上に有効と思われることがあれば、ご記入ください。

16	地区の集会所等、身近な場所で実施されることは良いことだと思いますが、車内の設備(器械等)により難しい面もあろうかと思えます。以前がん検診を受診された方から聞いた話ですが、受診者の状況を待っている人の耳にまで聞こえてしまう伝え方をされた方がおられ、プライバシーが守られなかったことに大変ショックを受けられたとのことでした。現在はそんなことはないのでしょうか。
17	広報誌に載せるだけでは、健康診査を行っていることはわかって健康診査の必要性が理解されていないのではと思います。未受診のリストがあるのであれば、未受診の理由のアンケートを取って対策を考えてみるのはいかがでしょうか。
18	学校の授業の中で健康について考える時間等をつくり、自然に家庭で話題になるような環境がつけられればよいのではないかと。
19	保健師さんからの地区での健康講座、検診の勧誘が必要に思われます。専門の指導があった方が検診を受け易い。がん検診をもう少し回数を増やしてほしい。検診(がん)を受けた方に特典を付ける方法(イカ進呈)、またスポーツの割引等、受診率の向上の一助になるかと思えます。
20	今日話していただいたように、現状どんな病気が増えてるとか、予防できるという話をしたらどうでしょうか？私たちの年代だと、あまり必要だと思っている人が少ないのでは？ちゃんと受けている人もいます。
21	病気ごとに早期手当、末期手当に係る費用を提示して、個人負担、国保負担を示すことで、万一の病気に備えた早期発見を促す。
22	表彰制度の導入。受診の回数に応じて医療費を安くしていく。
23	受診時間の短縮。
24	「最も受診しやすい体制(場所・曜日・時間帯)」は世代によっても異なると思います。自分のような子育て世代にとっては子どもとの時間を優先し、自分の時間は後回しになりがちなので、保育付きの健診があればありがたいのではと思います。また、自身のように職場健診があれば毎年受診できますが、周りの自営業の方たち(特に同世代の30代)は、受診経験が無い方が多いように思います。家族ができ、健康を気にする歳になっても、いざ受けるとなると受診方法が分からないという声をよく聞きます。働き盛り世代(子育て世代)は日々忙しく、市の広報誌を読む機会も少なく、自宅で防災行政無線を聞く機会も少ないように感じます。健康を気にし出す30代頃から受診する習慣をつけると、毎年受診するようになるのでは…とも思います。
25	検診の無料券が届いたので、市の検診の日に受けたいと思ったが、曜日がほとんど一緒に仕事が休めず行けずにいる。いろんな曜日で実施してほしい。一般的な健康診断も受けたいが、子どもがいるので行けない。大津ではママのための健診日というのがあって、保育付の健診曜日がある。ただ、無料でもなくて普通の健診なので、5000円くらいはかかったと思うが、いつも半年先くらいまで予約がいっぱいだった。
26	血液検査でがんが解れば良い。
27	対象者ひとりひとりに個別でハガキなどを郵送し、〇月〇日、場所〇〇など、ある程度日時や場所などをはっきり明記してくれる方が行きやすいのではないかと思います。
28	健診時、会社にいた時はおなかをからっぽにして受けていました。高島市では検査項目も少なく、家の近くで受診できて嬉しいです。だけど、もっと詳しく調べたい時は有料で、交通費を払い、市外かと思うと大変な所かなと思いました。
29	診査や健診の日程をもっと伝えられたら良いと思います。私は今までいつにあったのか全く知りません。私が健康に関心を持っていなかったからかもしれませんが、そういう人にこそ知ってもらえる方法があると良いと思います。
30	地域の医療機関の医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士等が講師となって住民の為に出席講座を開いて欲しいです。会場まで来られない方の為に、市のホームページに映像をアップできれば尚、好ましいと思います。

Q16 その他、健康診査やがん検診の受診率向上に有効と思われることがあれば、ご記入ください。

31	<p>郵送される健診のお知らせにもっと創意工夫をすべきである。健診の日時、場所、検査項目は当然であるが、ここからが大切なことで、「なぜ健診が必要なのか」というコメントを記入すべきである。</p> <p>①(コメント例)「健診があなたの命を守る！」私も健診により大腸がんより生き延びた一人です。受診率が30%台の低率と初めて知った。</p> <p>②健康推進課に聞くと、郵送のお知らせ(2回目、3回目の催促)と同時に、電話による説明、説得もしていると言う。これも今後も続けるべきである。</p> <p>③「今年はプレゼント付！」を載せている。少しでも受診率アップの為、よい方法であり、今後も続けるべきである。参考までに直近の日経新聞11/30の記事コピーも添付します。(命を守るための検診)健診により死亡リスクが低下することの説明も載せる。</p>
32	<p>プリントされたものは読まれないことが多いと思います。ふれあいサロンや自治会で必ず1回は保健師さんを招いて広報する事を義務づけるとか、各地区の健康推進員があいさつとともに「〇〇日は健診の日ですね」と声かけするよう心がけるとか、直接伝える事が大切かと思います。</p>
33	<p>時間があれば行こうという事で結局後回しとなり機会を見送ったり忘れてしまいがちです。時間帯含め、予約をとれる形も良いかもしれません。健診予定を優先的に組んでいってもらえる一つのパターンとしてですが。</p>
34	<p>予防医療の大切さや、普段の健康管理への自覚を促すような啓蒙活動を広報誌や防災無線で続ける事。自分自身はまだ受診していないが、主な理由は忙しく予定が立たない為まだ受けていません。多分、多くの人は忙しい日常の中、行こうと思っても、そのうちに忘れてしまうのでは…空いた時間に、いきなり医療機関に行っても受診できますか？</p>
35	<p>日程等、受診できる日を増やしてほしい。</p>
36	<p>任意ではなく、必ず受診するようにする。</p>

Q17 本日の（アンケートに際しての説明会での）高島市の現状をお聞きになり、どのように感じられましたか

1	高齢化が進んでいるにもかかわらず、県に比べ受診率がかなり低い事に驚きました。高齢者だけでなく、若年層も自分の為、家族の為、良い老後を過ごす為に、もっと健康に関心を持ち、自己管理していかなければならない。
2	市の担当部署の熱意は伝わった。個々の健康維持は基本的には自己責任。
3	「生きる意味」を根底から考える必要があると思う。みんながやたら長生きを求めたらどうなる。マルサス時代は彼を「オニ」のように言う人もいたが、マルサスの主張は現代を考える上で有意義であると今更に思う。
4	1. 国保特定健診結果について: 有所見となる各数値が右列に掲載されていればよかったのではないか(その数値から見て高い人の割合がこれだけなのだという説得力になるのではないか。) 2. 「5. この状来が長く続くと・・・」について: 各疾患別の一人当たりの医療費に割り戻すとどのような数値になるのかを示してもらえると、各自が自分のことと置き換えて考えやすいのではないか。もし、一人当たりの数値(金額)をグラフにされているのであれば、それを明示された方が良いと思います。(市全体での総額と勘違いします。)
5	高島での死亡原因の多いのは何でしょうか。死亡原因の病気を減らすこと、また介護がなくてもびんびんされているお年寄りを増やすことが大事かと思えます。長生きすればいいということではないと思います。健康診断の受診を増やすことが目的ではなく、病気を減らし、健康で生きる市民を増やすことが目的なので、しなければならない事は、また変わると思えます。お年寄りで社会参加されている方は、本当に多くいらっしゃいますし、御元気ですね。一つは生きがい、二つは食事、三つは運動ではないでしょうか。食事については、問題は、特に若い人、子ども、幼児の食事にあるように思えます。若い方への食べることの大切さに関心を持ってもらうことができれば、また変わると思えます。
6	腎臓透析の患者が高島市には多くおられると聞きましたが、(私のおじさんから)原因を確かめて少なくするようにして下さい。
7	健康が如何に重要であるかのよいPRの方法がないかと思えますが、まだまだ一般の人々は必要感をいっている人が少ない。こんなモニター研修会でも、何かもうひとつピンとこない。「しゃあないからやっている」感が強い。最後の質問者も同意見ではないかと思う。(帳面消しの感がする)
8	受診率などは、利便性と受診への抵抗(行っても仕方がないとか邪魔くさいとかいうような)が大きな要因になっていると思います。それを取り除くような対策が必要なのだらうと考えます。その解消法として、日頃から慣れているかかりつけの医者などを活用するような対策はできないのでしょうか。アンケートについては、一般的な内容で、これを利用するには母数が少ないと思います。この様なモニターを利用するのなら、もっと深い意見を聞いた方が効果的だと思います。
9	健診などの受診率が低いことが驚きであった。このアンケートは無記名でいいように思える。(プライベートな質問となっているものが多く、その必要性が不明)
10	専門の用語が多いので自分に当てはめにくいと思う。※専門用語の解説文の保存版でもあったと、家庭での話題にものぼりやすくなるかも。(数年前にお医者様のものが出ていた様に思うが)
11	担当の方々が一生懸命になっていただいている事がよく分かった。
12	自分自身もそうだが、病気にならないとその気にならない。体調が良いと健診なんか必要ないと思ってしまう。普段の生活パターンの改善や定期的なスポーツをする機会がもっとあれば良いと思う。
13	市が受診率を高めたい理由がはっきりと解らない。病の早期発見を促してはいるが、高齢者増加に伴い、病気の人が増えた場合の公的な医療、福祉関係の予算が増える事の市財政の負担を心配しているようにしか思えないように見えた。誤解があれば申し訳ないが、感じたままを記載しておく。
14	悪いイメージが付きすぎているように思う。庁舎、ダイオキシン、子どものいじめ、商工業の不振、数々問題はあと思うが、市民の意見を受け入れてくれる小さな窓口があるように思う。支所や本所に行つてまで言えない事もあると思う。市議員さんがもっと身近な存在であってほしい。

Q17 本日の（アンケートに際しての説明会での）高島市の現状をお聞きになり、どのように感じられましたか

15	市内各地で実施しているにも関わらず、受診者が少なすぎてびっくりしました。近年は血液センター等も上記の様なクーポン等の特典つきのもも増えている様であり、その様な取り組みも必要になってきているのではないのでしょうか？
16	国保特定健査の結果を見て、結果が悪いことにびっくりしました。だから、こういう結果にならないように対策をとったらいいと思います。例えばBMIが高いなら運動量を増やせるようにイベントを開催するとか。
17	私事ですが、主人は毎年人間ドックを受けていて、私にもがん検診を受診するようやかましく言うのですが、今のところ受診しておらず反省している状態です。
18	今回、このような説明会に参加させていただき、健診の受診率に対して、市の職員の方たちがいかに努力されているのか感じることができました。
19	高島市民の健康への意識が多少低いように思うが、県レベルや多分国レベルでも高いわけではないと思うので、国をあげて取り組む問題だと思う。
20	自分の身体は自分が守ると思う意識が低いようです。資料にもあるように糖尿病の予備軍が多いようです。合併症のリスクが高まります。また、高島市ではLDLコレステロール(悪玉コレステロール)値が高いと保健師さんから聞きました。やはり適度な運動、バランスの良い食事、健康関係のイベントの参加により、健康に暮らせる期間を延ばせるように日々の意識改革が必要に思われます。
21	健診で引っかかっても精密検査を受けないというのは意味が分からなかったです。健診率が低いのもビックリでしたが、がん検診の案内が送られてきてもしっかり見ていませんでした。次からは、予防のためにちゃんと受けようと思いました。
22	高島市民の健康維持こそ国力の向上につながる。
23	自分の健康管理は自分でするもので、健診するもしないも最終的には自己責任となるので、行政サイドの出来る施策には限度があると思います。自分の健康管理に興味があれば、市の広報やインターネット等で情報は日々収集できる環境だと思います。
24	田舎ほど人は歩かずどこでも車で行きます。高島でも同じことが言えると思います。歩かなくなると筋力が低下して寝たきりにもなりやすいし、血糖値が高い人が多くなるようです。車を使えばガソリン代もかかるし、地球にも優しくないということをもっと全面的に言って、歩いたり自転車に乗るように促すのはどうでしょう？若い人は歩きますが、ある程度の年齢以上の人はあまり歩いているのを見かけません。これは問題です。
25	受診の大切さがわかりました。病気になる前の予防のための毎年の健診は大切な事だと思います。もっと、体が不調にならないための身体づくりの運動を増やしてください。
26	健診を受ける人が減少していることを資料から知りましたが、自分の健康を大切にしていच्छやる人はしっかり受けられるであろうし、どうでも良いと思っている人に無理にさせる必要はないと思います。
27	滋賀県の受診率に比べて3%も少ないことを知り驚きました。高島市は、高齢化率が高く、生産人口比率が少ないことを考えると健診の重要性を感じます。なぜなら、生産人口年齢層が病気になると高島市の財政を圧迫し、経済にも影響を及ぼすからです。従って、我々市政モニターだけでなく市民全域にこの現状をお伝えいただきたいと存じます。
28	全てに仕事に対して積極的に取り組んでいくこと
29	今年からの健診の会場が変わったので、皆さんどうされたのか聞いてみたら、年配の方はかかりつけの医院でついでに済ませた方がほとんどでした。ただ、年を重ねると1年はあつという間に過ぎてしまうので、がん検診は数年おきになってしまうのかなと思いました。

Q 17 本日の（アンケートに際しての説明会での）高島市の現状をお聞きになり、どのように感じられましたか

30	正直、私の周囲では比較的皆さん健診に行っておられる様です。しかし、受診先は会社経由での受診や個人として医療機関での受診も見受けられます。ですので、集団健診の受診者減というのがイコール健康診断受診者減という事となっているのでしょうか？会社からの検診ですとより細やかな内容で健診してもらえるとこの声も聞きます。
31	予防医療が結果的には、医療保険財政の健全化になるなら一部無料化も。でも最終的には、健康管理は本人の自覚次第なところもありますし。予防医療の先進自治体はどのような取り組みをしているのでしょうか？すぐできる取り組みがあれば、取り入れていけば？
32	自分自身も含め、健康に対しての意識が薄いと思いました。手遅れになってからでは遅いので、気をつけたいと思います。